

「能登志賀ころ柿」 産地再生の取り組み（プレミアム初出荷）

中能登農林総合事務所

令和元年12月7日（土）、志賀町特産の干し柿「能登志賀ころ柿」の最上級規格「プレミアム」が金沢市中央卸売市場に初出荷されました。

「能登志賀ころ柿」は、外観が鮮やかな飴色で、果肉は緻密で柔らかいことから食味に優れており、市場や青果店等から高い評価を受け、お歳暮用の贈答品として人気があります。しかし、生産者の高齢化や後継者不足による担い手の減少のため、共販出荷量は減少傾向にあり、平成4年のピーク時の7万箱の半分以下にまで落ち込んでしまいました。

そこで、当事務所では、ころ柿産地の振興を図るため、JA等関係機関に働きかけ平成27年に「ころ柿の里しか再生プロジェクト」を立ち上げ、平成28年10月には、地理的表示保護制度（GI）に登録（農林水産大臣登録第20号）され、GIを活用したブランド化の取り組みを進めており、今回の「プレミアム」出荷は、そのブランド化の取り組みのひとつです。

「プレミアム」は、平成30年から、従来の特選規格と同等以上の外観で、より大きなサイズ（1個85g以上）とし、さらなるブランド価値の向上とブランドイメージの確立を目指して設定しましたが、昨年は果実が小さく、出荷できませんでした。

そのため、当事務所では、プレミアムの出荷に向け、規格を満たす大玉果実の安定生産のため、せん定、不要な花や果実を間引く摘蕾や摘果の各種講習会を開催してきました。

今後も、引き続き、プレミアムの安定生産ならびに「能登志賀ころ柿」のブランド化に向けた取り組みを関係機関と連携しながら支援していきたいと考えています。



最上級のプレミアム



せん定講習会

問い合わせ：中能登農林総合事務所 羽咋農林事務所

（0767-22-0001）